

【施策評価調査】

施策名	3-4-2	交通安全施設の整備		102	施策目的 本町の交通量の増加に伴い、交通安全対策が重要となっており、組織育成などのソフト面と交通安全施設の整備などのハード面が必要になっている。 本施策では、ハード面の整備を充実させ交通安全事業の行政としての役割をはたすものです。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部署	総務企画部地域安全課	担当 リーダー	危機管理担当 岡本英男		
環境変化					施策内容 交通事故の削減を目指して、ガードレール、カーブミラー、外側線(路肩を示す線)等の交通安全施設を計画的に増設するとともに、老朽化したカーブミラーの交換を行います。 (「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 交通事故発生件数(件)	平成16年度町内人身事故発生件数 252件	計画	240件	235件	230件	225件	220件
		実績	212件	199件	146件		
指標 : 人口10万人当り交通事故発生件数(件/人)	平成16年度人口10万人当り交通事故発生件数 817.6件	計画	761.9件	739.7件	718.2件	697.3件	677.0件
		実績	682.7件	640.1件	472.0件		
指標 :		計画					
指標 :		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	4,500,000	5,500,000	10,110,000		
	決算	4,494,000	4,746,000	10,006,290		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
仁井田コミュニティゾーン整備事業費	当初 5,000,000	カラー薄層舗装面積	A	これまで整備した地区は、光陽台、宝石台、仁井田地区の3地区で交差点内、横断歩道、路側帯を薄層カラー舗装工事を施工しています。この整備が町全体としての交通事故減少の一端を担っていると考えております。参考までに町全体の交通事故件数はH19が199件でH20が146件で対前年53件減少した。また、人口10万人当りの交通事故発生件数は、H19が640.1件でH20が472.0人で対前年168.1件減少しました。			
	決算 4,945,500	542㎡ / 900㎡		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
交通安全施設設置事業費	当初 5,110,000	人身事故発生件数の減少	A	老朽化したカーブミラーの交換や危険箇所へのカーブミラーやガードレールの設置に加え、交通安全関係団体等の活動などが要因となり、人身事故発生件数が対前年で81件減少したのと思われます。			
	決算 5,060,790	前年度より81件減 / 前年度より10件減		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	<p>交通安全発生件数でH19年が199件、H20年が146件で対前年53件減少した。また、人口10万人当りの交通事故発生件数もH19年が640.1件、H20年が472.0人で対前年168.1件減少しました。</p>	<p>今後も、交通危険箇所を調査し、交通事故を未然に防げるよう交差点内や横断歩道、路側帯を薄層カラー舗装をすることで、ドライバーに注意を促すことができるため、計画的に交通安全施設を設置していくことが重要であります。</p>
総合評価	<p>交通安全運動推進の啓発活動と相まって、年々交通事故発生件数も減少してきており成果はあっていると評価する。 後期計画策定に向け、これまで行ってきた整備箇所を検証し、それを基にした上で、予防保全的な箇所危険箇所の改善を図るべく、計画的な施策展開を検討すること。 また、施策指標についても見直すこと。</p>	